一般廃棄物処理手数料（指定収集廃棄物）について

1 一般廃棄物の処理

西東京市では一般廃棄物の処理をするに当たり、収集した廃棄物を東久留米市にある中間処理施設の柳泉園（清瀬市・東久留米市・西東京市で構成する一部事務組合）に搬入し、資源化等の処理を行い、可燃ごみの焼却灰だけを日の出町にある二ツ塚最終処分場（25市1町の一部事務組合）でエコセメントに資源化している。

また、資源物の一部は、品目により各種の民間処理事業者へ搬入し資源化を図っている。一般廃棄物のうち、家庭系ごみ（可燃・不燃ごみ及びプラスチック容器包装類）については、市が指定する収集袋を使用して排出いただくこととしており、収集袋の料金を一般廃棄物処理手数料（指定収集廃棄物）として徴収している。

2 一般廃棄物処理手数料（指定収集廃棄物）改正の経緯

西東京市は、平成20年1月から家庭系ごみの有料化を実施したが、平成22年10月に減額改定して以降、見直しが行われていない。

このような状況を踏まえ、令和4年12月に使用料等審議会へ一般廃棄物処理手数料（指定収集廃棄物）の適正化を諮問し、令和5年1月に「現行の手数料と乖離が生じているものの、プラスチック資源循環法の施行やバイオマスプラスチック等製ごみ袋の導入等の検討が必要であり、併せて物価高騰等による市民生活への影響等を考慮し、現行の手数料を据え置くことが妥当である」との答申をいただくとともに、「適切な時期に改めて適正価格を検討する」よう、附帯意見をいただいた。

改正時期	改正内容	
	可燃・不燃ごみ	プラスチック容器包装類
H20. 1. 1	<u>10 につき 2円</u> ミニ袋（50） 1袋につき10円 小袋（100） 1袋につき20円 中袋（200） 1袋につき40円 大袋（400） 1袋につき80円	<u>10 につき 2円</u> 小袋（100） 1袋につき20円 中袋（200） 1袋につき40円 大袋（400） 1袋につき80円
H22. 10. 1 ※現行料金	<u>10 につき 1.5円</u> ミニ袋（50） 1袋につき7.5円 小袋（100） 1袋につき 15円 中袋（200） 1袋につき 30円 大袋（400） 1袋につき 60円	<u>10 につき 0.5円</u> 小袋（100） 1袋につき 5円 中袋（200） 1袋につき10円 大袋（400） 1袋につき20円

3 原価計算結果及び近隣自治体との比較

(1) 原価計算結果

「使用料・手数料等の適正化に関する基本方針（令和元年度改訂版）」に基づき、収集運搬及び処分に係る経費の原価計算を行ったところ、以下の結果となった。

（※資料 1-2 及び資料 1-3 参照）

$$\begin{aligned} & \text{年間ごみ処理経費} \div \text{年間処理量（年間のごみ袋販売数）} \times \text{受益者負担割合（30\%）} \\ & = \text{【可燃・不燃ごみ】} \underline{2.46\text{円/}\ell} \\ & \quad \text{【プラスチック容器包装類】} \underline{1.05\text{円/}\ell} \end{aligned}$$

(2) 近隣自治体との比較

一般廃棄物処理手数料（指定収集袋 1 枚の手数料）について、近隣自治体と料金設定を比較した。

可燃・不燃ごみ及びプラスチック容器包装類ともに、近隣自治体と比べて低廉な料金設定となっている。

（※資料 1-6 参照）

4 前回の答申を踏まえた検討

(1) プラスチック資源循環促進法の施行

プラスチック資源循環促進法が令和 4 年 4 月から施行となった。プラスチックごみ一括回収のありかたについては、令和 9 年度から検討が始まる新清掃施設整備基本計画の策定に向け、令和 8 年度を目途に柳泉園及び構成 3 市で方向性を決定する予定である。

(2) バイオマスプラスチック等製ごみ袋の導入に向けての試行

指定収集袋にバイオマス素材を導入することにより、CO₂の削減、カーボンニュートラルを期待できることから、ゼロカーボンシティ宣言をした本市においても導入を検討している。導入に当たっては市民への影響を精査するため、試行的に一部の袋にバイオマス素材を導入し、効果検証を行う予定としている。

なお、バイオマス素材を導入した場合の原価計算を行ったところ、以下の結果となった。

$$\begin{aligned} & \text{年間ごみ処理経費} \div \text{年間処理量（年間のごみ袋販売数）} \times \text{受益者負担割合（30\%）} \\ & = \text{【可燃・不燃ごみ】} \underline{2.49\text{円/}\ell} \\ & \quad \text{【プラスチック容器包装類】} \underline{1.08\text{円/}\ell} \\ & \text{（※資料 1-4 及び資料 1-5 参照）} \end{aligned}$$

5 検証の結果

「3 原価計算結果及び近隣自治体との比較」のとおり、「使用料・手数料等の適正化に関する基本方針（令和元年度改訂版）」に基づき、収集運搬及び処分に係る経費の原価計算を行い、近隣自治体との比較を行った結果、条例で定める現行の手数料と乖離が生じていることや、近隣自治体よりも低廉であることから、適正化を図る必要がある。

しかし、適正化に当たっては試行的に導入するバイオマスプラスチック等製ごみ袋の効果検証を実施した後に行いたいと考えている。

なお、プラスチック資源循環促進法への対応については、引き続きの検討としたい。